

# 応募詳細

未来社会を見据えたSDGs、プログラミング教育など、教育界は大きな変革の時期。今まで以上に思考力、表現力が求められています。そのために必要不可欠なこと・・・それは「書く力、伝える力」です。これから来るべくAI社会に打ち勝つために、人として大切な能力です。このコンクールは、単に上手な作文を求めるコンクールではありません。今の年齢ならではの心を、自分の言葉で表現してください。「書くことは、心育で」・・・ぜひ、ご参加ください。

## ■主催

一般社団法人 日本育脳協会

## ■募集対象

幼児から小学3年生まで、所属団体を通して又は個人から応募いただけます。

## ■募集作品と文字数

幼児：【自筆部門】①絵日記 ②作文または詩 ※それぞれ1点まで(規定原稿用紙1枚以内)  
【他筆部門】子どものつづやき ※1点のみ(規定原稿用紙1枚以内)  
キュンとした子どもの言葉、はっとさせられた子どもの言葉などを大人の方が代筆してください。

### <子どものつづやきの一例>

お腹がすいている娘。適当におにぎりを  
作ってあげると、一口食べて、  
娘「すごく、おいしい。」  
母「そんなにおいしい？」  
娘「だって、ママの手みたいに温かくて  
ホカホカしてるんだもん。」  
私は、思わず娘を抱きしめました。

小学生：作文または詩 ※どちらか1点まで(市販の400字詰め原稿用紙、またはダウンロードした原稿用紙2枚以内)

## ■テーマ

自由。日々の生活の中で感じた出来事を自分の言葉で綴ってください。

## ■その他

- ・他筆部門以外全て自筆であること。
- ・文字は鉛筆を使用。
- ・絵の画材は自由。

## ■応募方法

団体→団体用応募名簿、原稿用紙を協会HPよりダウンロードし、印刷してご使用ください。  
必要事項を記入の上、応募名簿順に作品を重ねて、郵送してください。

個人→個人用応募用紙、原稿用紙を協会HPよりダウンロードし、印刷してご使用ください。  
応募用紙に必要事項を記入の上、作品にホチキス留めをして、郵送してください。

### <個人情報の取り扱いについて>

応募者からの個人情報は、当コンクールに関する連絡・発表・通知・発送のために使用させていただきます。  
また、その目的のため、関連会社へ業務委託する場合がございます。  
法令に基づき、いつでも開示・訂正・削除できます。

### <応募作品の著作権について>

応募された作品の著作権は、主催者に帰属するものとし、一切返却できません。  
作品に関するお問い合わせ等には、お答えできませんので予めご了承ください。  
※必要な場合は、必ず作品をコピーしておいてください。

## ■応募締切

2022年9月30日(金)必着

【一般社団法人 日本育脳協会HP】  
<https://japan-ikunou.com/>

### 作品応募先

〒565-0826

大阪府吹田市千里万博公園12-1パークサイドビル203

一般社団法人 日本育脳協会 作文コンクール事務局



## ●各賞 団体・個人

グランプリ/準グランプリ/ブロンズ賞/優秀作品(個人賞のみ)

作品集「にこり」に掲載されます。

※グランプリには賞状並びに副賞(個人賞のみ)、準グランプリ、ブロンズ賞には賞状が贈られます。

## ●作品審査

2022年10月下旬までに1次審査を行います。入選者のうち、幼児自筆部門のグランプリ候補者は、11月上旬に個別に最終審査(課題作文)を行います。

## ●発表

2022年12月1日(木) ※上記ホームページ上にて

## ●特別審査員 ※多数の著作・執筆活動でご活躍のお二人がコンクールに賛同し、特別審査員をお引き受け下さいました。

### 若林 富男

【profile】  
元お茶の水女子大学附属小学校副校長  
前江戸川学園取手小学校校長  
専門：国語教育(作文教育)  
著書：ドラえもん「すらすら作文が書ける」  
「じょうずに話せ、発表できる」(小学館)他多数。



### 田宮 由美

【profile】  
家庭教育研究家。Allabout子育てガイド。  
家庭教育協会「子育て親育ち」代表  
資格：保育士・幼稚園教諭・小学校教諭。  
日本子育て学会認定 子育てコミュニケーションター  
テレビ、ラジオにも出演。  
書籍「比べない子育て」(一万年堂出版)  
「子どもの能力を決める0歳から9歳までの育て方」KADOKAWA  
■HP 家庭教育協会「子育て親育ち」<https://kosodate-ai.com/>

